



# 教育支援(支援物資)

## 援助物資募集及び海外輸送

2010年度は主に鍵盤ハーモニカ2,217台、リコーダー695本が全国各地から寄せられ、ボランティアの活躍で清掃、梱包作業が進められました。その他、江東区及び海外リサイクル支援協会との協働事業では、合計220セット中古机・椅子をプレシアヌーク県フンセンメタピアップ小学校に新校舎に贈ることができました。贈呈式にて、同学校6年生のスオン・ティダボット君(13歳)は、「校舎、トイレ、井戸、教室の備品をきれいに使用します」とスピーチで語ってくれました。過去3年間の寄贈品と荷受件数は右下の表の通りです。



新しい机で勉強する生徒



フンセンメタピアップ小学校に届いた日本の机・椅子

たくさんの方々にお手伝いをいただきました。本当にありがとうございました。



江東区及び海外リサイクル支援協会との三者協同で支援物資を輸送。トラックの中には清掃済みの机・椅子や楽器などが満載。たくさんボランティアの方がお手伝いにかけてくれました。

### 過去3年間に東京事務所へ寄贈いただいた楽器

品目	2008年度	2009年度	2010年度
鍵盤ハーモニカ	1,482台	1,675台	2,217台
カスタネット	132個	52個	77個
鈴	29個	4個	3個
タンバリン	62個	7個	9個
足踏みオルガン	42台	1台	0台
木琴	12台	16台	4台
リコーダー(アルト含む)	501本	1039本	695本
ハーモニカ	31本	124本	69本
アコーディオン	3台	5台	1台
太鼓	89個	10個	20個

\*リストに掲載している以外にも多くの楽器をいただきました。  
\*オルガンは国内倉庫の都合により、お受けできない場合があります。事前に東京事務所へご連絡ください。



# 教育支援(CCH)

## 幸せの子どもの家

JHPIは2002年に児童養護施設The Center for Children's Happiness(CCH:「幸せの子どもの家」)を設立し、教育の機会に恵まれない子どもの生活・就学支援を行っています。

2006年には、子どもの増加と成長に伴い男子と女子の居住区を分離するため、第2棟目の施設(CCH II)を建設。2009年にはこれまでも交流のあった別の児童養護施設Cambodia's Dump Children Committee(略称CDCC)と連携し、入所する子どもの数は約130名となりました。

これまでCCHの子どもたちが就学の機会に恵まれ健全で豊かな心を育ててこられたのは、ご支援下さったサポーターの皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。今後も、彼らが将来の自立に向けて生活できるよう、ご支援をお願いいたします。

尚、東日本大震災発生後、CCHソッカ所長と子どもたちから、JHP関係者へのお見舞いメッセージが届きました。日頃のご支援が心の支援につながっている結果だと考えております。



ケオ・チャンタラ (15歳)

### 「いつか学校に行きたいと願っていた」

CCHに来る前、私はゴミ山で暮らしていました。家族はとても貧しく、7歳の時からゴミ拾いを始めました。私には弟が一人と妹が一人います。毎朝5時半に起床し、近所でゴミを拾いました。時に3ドルから5ドルくらい稼ぐことができましたが、その分沢山働かなければなりません。時々両親は私にゴミ拾いに行くなと止めましたが、私は聞きませんでした。二人とも毎日沢山働いているのを知っていたからです。裕福な人たちのように暮らせない両親が可哀想でした。私は貧乏だったため、他の子ども達のように学校に行くことができませんでした。いつかは学校に行きたいと願っていました。

2004年10月5日、いつものようにゴミ拾いをしていると、突然ソッカさんが現れ、CCHで暮らさないかと言うのです。最後に両親と写真を撮り、家族と別れました。CCHに着いた時、とても幸せで、興奮していました。学校に通えると知り、夢がかなったと思いました。最初は国語も英語も読めませんが、徐々に分かるようになってきました。

最後に、日本の支援者の皆様へ感謝いたします。私の人生が大きく好転したのは皆様のおかげです。将来はIT関係の仕事に就きたいと思っています。ありがとうございました。



活動隊とのカレーパーティー



授業中の様子



メチ・ソッカ所長

### 「支援者の皆様へ」

いつもCCHを支援してくださる皆様へ御礼申し上げます。貧しく、ゴミ拾いをして生計を立てていた子供達が、皆様のご寄付のおかげでCCHで安心な暮らしをしています。ご寄付は精神的、身体的な医療、食事、住居、教育を提供するのにご利用させていただいております。

CCHでは一般教養、技術、道徳を教える事を重視しています。教育は成功への鍵となるものです。CCHでは希望、愛、優しさを与え、子供の権利を守ります。そして子どもたちは将来倫理感と教養を持ち、自らの力で生計を立て、社会の中で責任感を持ちつつ、幸せな暮らしをしてゆくと考えています。18歳になれば社会的にも法律的にも自分の決断と行動に責任を持つ事が期待されます。

CCHを代表し、全てのCCH支援者の皆様とJHPに感謝いたします。皆様の益々のご発展とご成功をお祈りいたします。



縫製の練習をしています